

みんなでつくる、あたらしい

# 宮前市民館・図書館 アイデアワークショップ

## ワークショップの目的

川崎市では、令和7（2025）～8（2026）年度（予定）に鷺沼駅周辺に移転・整備する新しい宮前市民館・図書館が魅力にあふれ、使いやすい施設になるよう、区民の皆さまの声をお聴きしながら、新しい施設の基本計画を策定する予定です。

このワークショップは、新しい施設が宮前区の文化・交流の拠点として愛される市民館・図書館となるよう、施設の将来像や期待すること、アイデアなどを区民の皆さまと一緒に考えることを目的としています。

## ワークショップの進め方

### 第1回

新たな市民館・図書館に  
「引き継ぎたいこと」「期待すること」を  
出し合おう

### 第2回

多様なライフスタイルと結びつく  
「つながる・ひろがる・学ぶ」新しい  
市民館・図書館のアイデアを出し合おう

令和元（2019）年 **9月7日（土）**  
13:30～16:30を予定（開場13:00）

令和元（2019）年 **10月5日（土）**  
13:30～16:30を予定（開場13:00）

## 当日のプログラム（予定）

- 1 開会のあいさつ
- 2 オリエンテーション、目的と進め方の説明
- 3 グループワーク（グループに分かれて意見交換）
- 4 成果発表、まとめ
- 5 閉会のあいさつ、アンケート記入

本冊子は当日の  
ワークショップ内容に  
関連しますので  
事前にお読みください  
\*当日ご持参ください

● 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針の概要

現在、鷺沼駅前では、民間事業者による再開発事業計画の検討が進められています。

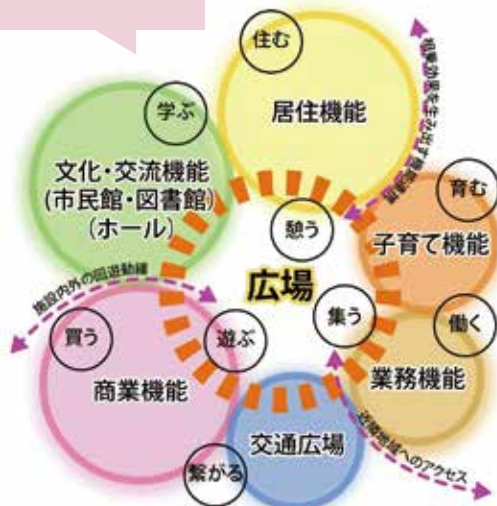
平成 31 (2019) 年 3 月にはさまざまなご意見や基礎調査の結果などを総合的に整理・検討し、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。

■ 配置イメージ



新しくなった駅周辺ではこのように多様な機能が連携することを目指しています

■ 機能連携イメージ



新しい宮前市民館・図書館は  
令和 7 (2025) 年度、  
または 8 (2026) 年度中  
に利用できるよう、  
検討を進めています。

※現在、準備組合による環境アセスメント  
手続きが進められています。

## ●新しい宮前市民館・図書館の基本計画について

平成30（2018）年度に策定した基本方針において、令和元年度から、市民館・図書館の機能・サービス等について検討することとしました。

### ◆機能・サービス

- ・これまでの市民館・図書館事業の継続
- ・区役所と連携した事業
- ・民間事業者等と連携した、幅広い生涯学習事業や図書館サービス、イベント
- ・市民館・図書館に対する認知度や興味関心を高めるための取組
- ・利用者のニーズに対応した環境整備による新たなサービス
- ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくりと活動しやすい動線や諸室・機能配置等

### ◆規模

- ・現施設と同程度の施設規模を基本
- ・市民館・図書館の更なる連携と生涯学習施設としての機能の充実に向けた効果的なスペース活用

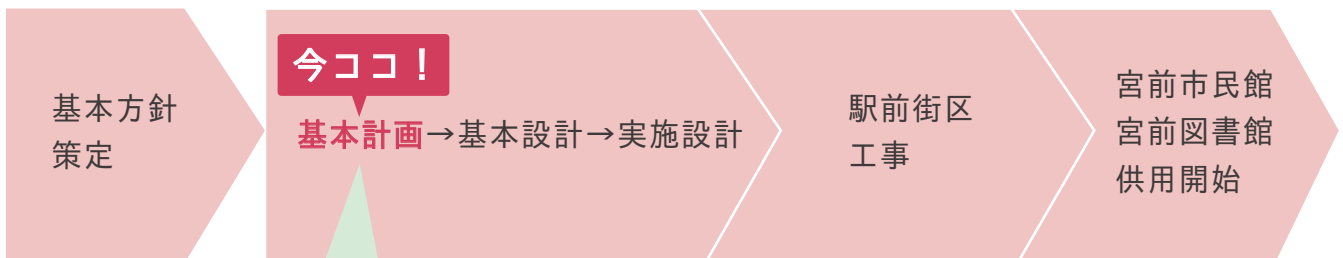
### ◆整備配置

- ・民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区の低層部に整備

このワークショップをはじめ、さまざまな機会を活用し、区民の皆さまの声をお聴きしながら、新しい市民館・図書館の基本計画づくりを進めていきます。

## ●新しい市民館・図書館の想定スケジュール

平成30（2018） 年度	令和元（2019）～令和3（2021） 年度	令和3（2021） ～7（2025）又は8（2026） 年度	令和7（2025） 又は8（2026）年度
------------------	---------------------------	--------------------------------------	--------------------------



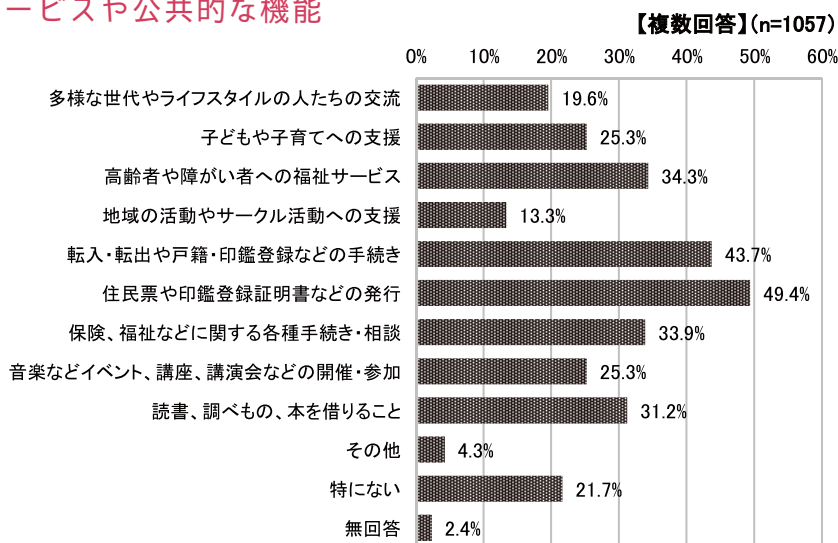
- ・ワークショップでの市民意見聴取
- ・イベント等での市民意見聴取（予定）
- ・ニュースレターでの情報発信等を行なっています

参考：新しい市民館・図書館に関するこれまでのご意見・アイデア

｜ 鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区の今後のまちづくりに向けた区民意識アンケート ｜

鷺沼駅前にあってほしい市民サービスや公共的な機能

「読書、調べもの、本を借りること」が 31.2% と図書館機能に関する項目も 3 割を超えるほか、「子どもや子育てへの支援」、「音楽などイベント、講座、講演会などの開催・参加」、「多様な世代やライフスタイルの人たちの交流」といった子育てや文化・交流に関する項目が続きました。



｜ 宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト 意見交換会 ｜

鷺沼駅周辺の文化・交流・コミュニティ機能・子ども・子育て機能・行政サービス・相談機能のアイデア

未来型図書館＋ワーキングスペース

- ・多様なコラボレーションが可能な場としてのワーキングスペースとする→フリーのワークスペースとする→ちょっとした会議→お茶を飲みながらの意見交換の場など

ホール

- ・音楽・芸術 交流できる場所

広場

- ・フリースペース
- ・多様性（異文化交流）から創造性（宮前の特性の創造）へつながるスペース広場

相談窓口

- ・老人いこいの家が他区よりも少ない→行きたくても行けない障害者の交流の場所をつくる

一日過ごせる

生活を後押しする 働く場・集う場・学ぶ場

働く場

- ・多様な人々が使うシェア、ワーキングスペース（空間、道具、コラボレーションをシェアする）

子ども・子育て

- ・床がやわらかい、小さな遊具、親が買い物のついでに連れていける、雨の日にも安心して遊べる場所

これまでのご意見も踏まえながら  
検討を進めていきます！！

宮前 ミライづくり

● 区民の主体的な活動によりまちづくりが進められてきたまち

地形・土地

● 起伏に富んだ、自然豊かな歴史あるまち

- ◆ 起伏に富んだ地形、坂の多い地形
- ◆ 遺跡や地域に根ざした伝統芸能などの歴史・文化のある土地
- ◆ 全市平均と比べると住宅・農地・山林の割合が高い



菅生緑地



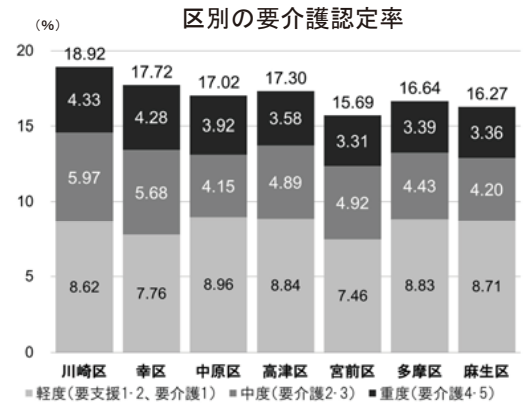
平瀬川流域の水辺

人口

● ファミリー層、元気なシニアが多いまち

総人口約 23 万人／世帯数約 10 万世帯（令和元（2019）年 6 月 1 日現在）

- ◆ 東急田園都市線沿線を中心に人口が分布している
- ◆ 年少人口が高く、核家族が多い
- ◆ 昼夜間人口比率が 7 区の中で最も低い
- ◆ 市区町村別平均寿命が全国 10 位（平成 27（2015）年）で、要介護認定率が市内で最も低い等、元気なシニアが多い
- ◆ 総人口のピークは令和 17（2035）年で 23.8 万人を迎える想定
- ◆ 老年人口のピークは令和 27（2045）年に 7.8 万人を迎える想定



資料：市介護保険運営協議会（平成 27（2015）年 4 月）

生活環境

● 都心へのアクセスが良く、閑静な住宅街が広がるまち

- ◆ 都心へのアクセスの良い閑静な住宅街としての生活満足度が高く、多くの区民が自然とのふれあいを大切にしている
- ◆ 田園都市線沿線を中心に人口が分布し、商業も駅周辺や主要道路沿線に集積している

生活環境の満足度（「満足している」と「まあ満足している」の率の合計）

	地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川・海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便しさ	買い物の便しさ	病院や医院までの距離	休日・夜間などの救急医療体制の充実度	市民館・図書館・スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
宮前区	58.0	58.8	57.6	53.7	71.8	77.3	53.7	66.3	62.0	46.7	43.5	62.7
全体	54.3	57.9	55.3	52.4	67.6	66.2	69.1	73.5	73.9	53.6	53.1	61.6

資料：平成 29（2017）年度かわさき市民アンケート報告書（平成 30（2018）年 3 月発行）

区民参加のまちづくり

● 区民参加によるまちづくりの取り組みがあるまち

- ◆ 多くの主体的に活動する区民に支えられてきたまち。また、区民参加でまちづくりを進めてきた土壌がある
  - ・ 宮前区のキャッチフレーズ「人が好き、緑が好き、まちが好き」（平成 5（1993）年区制 10 周年記念で区民より選ばれた）
  - ・ 「宮前区区づくりプラン ガーデン区構想（平成 9（1997）年 3 月）」は区民と企業、行政が協働で宮前区の将来像を描いたもの

出典：川崎市総合計画 <http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000075895.html>  
 川崎市都市計画マスタープラン宮前区構想 <http://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000008788.html>  
 厚生労働省平成 27（2015）年市区町村別生命表 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/ckts15/index.html>

### ●宮前市民館について

川崎市には7区全てに市民館があります。市民館は、みなさんが自ら学び、健康な生活を送れるように、学習・文化活動を支援する生涯学習の場です。

#### ～市民館でできること～

- ・ いろいろな講座や学級に参加する
- ・ 会議室、体育室、料理室などの施設を利用する
- ・ 地域で行われている活動について相談する
- ・ 講座や学級、イベントなどの情報を探す
- ・ 市民館で活動するグループの情報を探す



チラシコーナー

### | 施設概要 |

開館日

昭和 60 (1985) 年 7 月開館 / 宮前図書館と併設

延床面積

8,593 ㎡

利用時間

午前 9 時から午後 9 時まで

休館日

毎月第 3 月曜日 (第 3 月曜日が祝休日の場合は翌日)  
年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)、その他施設管理上必要な日

施設

ホール、会議室、和室、実習室、視聴覚室、料理室、体育室、児童室、ギャラリー

利用申し込み

「ふれあいネット」に登録し、市民館窓口又はふれあいネット利用者端末、インターネットによる申し込み (有料)

\* 15 歳未満の方 (中学生を含む) のみの利用はできません



ホール



料理室



和室

### | 宮前市民館の活動 |

楽しく学ぶ場

子育て世代、シニア世代、日本語を勉強したい外国人市民の方などを対象に、さまざまな学級・講座を開催しています。平和や人権、男女平等について学んだり、障がいのある人が社会参加するための活動をおこなったりもしています。みなさんが考えた講座を、市民館と一緒に実施することもできます。



市民館での講座の様子

〔講座の例〕

【子育て世代向け】

「子育て期、ワタシにとってはどんな時期？」(全5回)



子育て期を充実させるための講座を開催しました。

【平和・人権がテーマ】

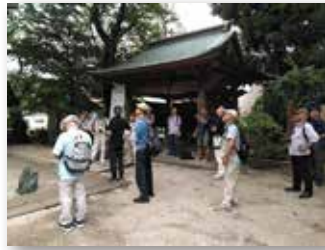
「夏休み小学生の平和研究」(全5回)



平和について考え、戦争に関する施設を見学しました。

【シニア世代向け】

「写真を撮りに街へ出よう」(全10回)



プロのカメラマンに技術を学び、街へ出ました。

【どなたでも】

「学んで、広めよう。楽しいIT講座」(全5回)



ITの可能性や活用方法を学びました。

【みなさんの提案により実施する事業】

地域のみなさんからご提案いただいた講座や催しを、一緒に企画・運営しています。地域や社会にどのような課題があるのか、どのような学習が必要なのかを考えて、協力して実施しています。



この事業をきっかけに誕生したコミュニティカフェ (Cafe みやまえ)

地域のみなさんがイベントや学級・講座のボランティアや企画委員として加わることで、市民館を支え、盛り上げてくれています。また、多くのサークルが活動しており、ギャラリーでの作品展示や、サークルのお祭り「みやまえ JAM」で日ごろの成果を発表しています。



和室での「子育てフェスタ」企画委員会



ギャラリーでの展示

市民館には会議室のほか、和室や料理室などのさまざまな部屋があり、仲間と楽しく集まり、学ぶことができます。また、イベント等を通じてサークル同士がつながる場にもなっています。

全館イベントの「夏休み子どもあそびランド」や「子育てフェスタ」にはたくさんの方が集まり、シニアの方による昔あそびコーナーや、中・高・大学生のボランティアスタッフなど、シニアから子どもまで、多様な交流が生まれています。



「夏休み子どもあそびランド」のひとこま



ホールでの「子育てフェスタ」エンディングコンサート

### ●宮前図書館について

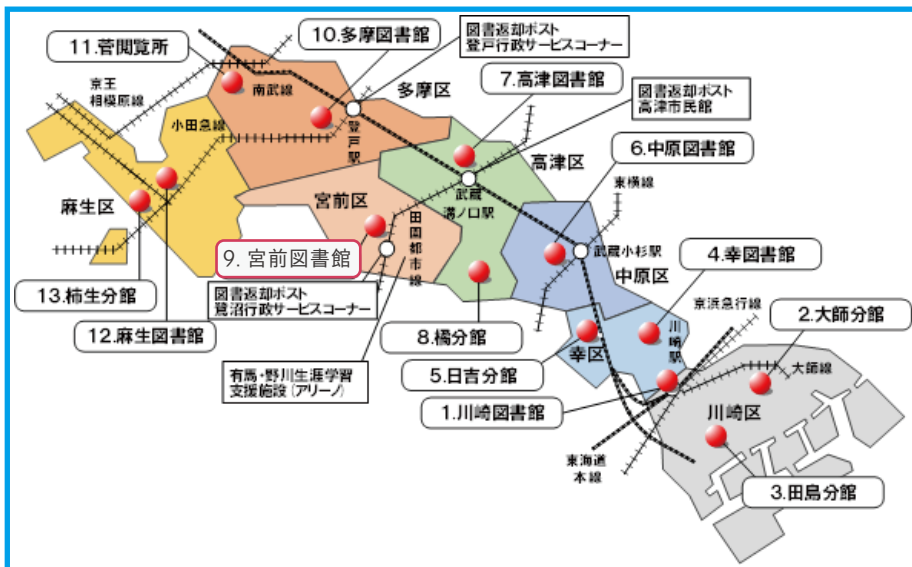
#### | 図書館とは |

「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する※」ことを目的とする施設です。(※図書館法第2条)

#### | 川崎市立図書館 |

川崎市の条例で設置された公共図書館です。入館料などはかかりません。

地区図書館・分館・閲覧所・自動車文庫で構成され、中原図書館が中央図書館的な機能を果たしています。全館が図書館ネットワークシステムで結ばれ、一体的に運営されています。



宮前図書館の閲覧席



宮前図書館の一般図書コーナー

#### | 川崎市立図書館の7つの運営理念 |

- 1 市民の生涯学習を支える図書館
- 2 市民の仕事や生活に役立つ図書館
- 3 川崎としての特色ある図書館
- 4 学校図書館との連携を推進する図書館
- 5 市民に信頼され市民が支える図書館
- 6 持続的で安定した効果的・効率的な運営をめざす図書館
- 7 図書館職員の専門的能力と資質の向上をめざす図書館



川崎市立図書館のマスコットキャラクター  
「つばきちゃん」





川崎市立図書館の  
マスコットキャラクター  
「つばきくん」

## 施設概要 | (平成 30 (2018) 年度)

開館日	昭和 60 (1985) 年 7 月開館 / 宮前市民館と併設		
延床面積	1,908 m <sup>2</sup>		
利用時間	平日：午前 9 時 30 分～午後 7 時 / 土・日・祝日：午前 9 時 30 分～午後 5 時		
休館日	毎月第 3 月曜日 (第 3 月曜日が祝休日の場合は翌日) 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)、蔵書点検期間他		
所蔵冊数	244,578 冊 (うち児童書 80,660 冊)	新聞	15 紙
		雑誌	118 誌
個人貸出者数	年間 384,355 人 (うち児童・生徒 69,615 人)		
個人向けの資料貸出	年間 927,897 点	団体向けの資料貸出	年間 5,285 点
予約受付件数	年間 275,659 点	年間入館者数	年間 559,779 人
閲覧席	社会人席 6、パソコン席 14、一般席 54		
利用案内	貸出カードは市立図書館共通です。 全館合わせて本・雑誌 10 冊、CD 3 点以内。2 週間まで借りることができます。 宮前図書館で借りた本や雑誌は市立図書館どこでも返すことができます。 (アリーノや返却ボックスでも返すことができます。) 予約リクエストは本・雑誌 10 冊、CD 3 点までです。		

## 宮前図書館の活動 |

- ・読み物や実用書、各分野の本や絵本、紙芝居、新聞、雑誌、大活字本、辞典類、「布の絵本」等の提供
- ・地域資料や行政情報等の提供
- ・ビジネスや学習の支援、レファレンス (調べもののお手伝い)
- ・インターネット端末やデータベース情報の提供 / 自動貸出機 2 台
- ・学校図書館の支援 (授業支援図書セットの貸出、図書館見学、職業体験など)
- ・おはなし会 (乳幼児向け～小学生向け、大人のおはなし会など)
- ・認知症にやさしい小さな本棚
- ・フロンターレコーナー
- ・企画展示コーナー
- ・障害者サービス (郵送サポート、対面朗読)
- ・自動車文庫
- ・研修やお話会ほか、各種イベントの開催など



布の絵本



認知症にやさしい  
小さな本棚

## 社会状況の変化に対応した市民館・図書館の検討に向けて

時代とともに変化する社会に対応した、社会教育のあり方、また、社会教育施設の果たす役割について、考え方の参考になるものをまとめています。新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、ぜひご一読ください。

### ●人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について

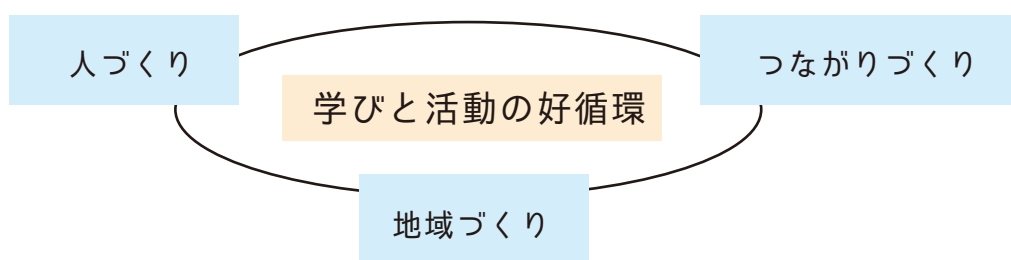
中央教育審議会では、平成 30（2018）年 12 月、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」を取りまとめています。

- ◆地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続的発展を支える取組に資することがより一層期待されています。
- ◆市民館、図書館、博物館等の社会教育施設には、地域活性化・まちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されるようになっていきます。
- ◆住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められるようになっていきます。

### | 地域における社会教育の目指すもの |

地域における「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりが求められています。

社会教育：個人の成長と地域社会の発展の双方に重要な意義と役割



### | 開かれ、つながる社会教育の実現 |

住民の主体的な参加のためのきっかけづくり

ネットワーク型行政の実質化

地域の学びと活動を活性化する人材の活躍

開かれ、つながる社会教育へ

## ●川崎市 これからのコミュニティ施策の基本的考え方

少子高齢化や人口減少など、今後予想される社会環境の変化を見据え、市民一人ひとりが多様なつながりをつくり、自分らしく幸せに暮らせる地域社会の実現を目指して、令和元（2019）年3月に「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を策定しました。

### ■ 概ね10年後、令和10（2028）年の川崎市が目指すまちの姿「希望のシナリオ」



### ■ 「希望のシナリオ」の実現に向けた主な取組

#### 地域レベル

誰もが気軽に集える出会いの場として、官民間わず、多様な地域資源を活用して、「まちのひろば」を創出し、人材・資源のネットワーク化や情報共有の促進、地域課題の解決等に取り組むとともに、市民のつながりの向上を図ります。

#### 区域レベル

市民創発によって課題解決を行うため、地域での様々な新しい活動や価値を生み出し、社会変革（ソーシャルイノベーション）を促す基盤（プラットフォーム）を創出します。

#### 市域レベル

市域レベルでの様々な中間支援組織の連携強化と効率的・効果的な支援体制の構築、「ソーシャルデザインセンター」との有機的連携、新たな役割の創出に取り組めます。

詳しくは市のホームページから

「これからのコミュニティ」で検索

## 会場案内

- \* 第1回と第2回で会場が異なりますので、ご注意ください。
- \* 当日の受付開始は両日とも 13:00～です。急遽ご欠席される場合は下記の問い合わせ先（当日のお問い合わせ先）までご連絡ください。

### 第1回

#### 宮前市民館 大会議室

〒216-0006

川崎市宮前区宮前平 2-20-4

東急田園都市線 宮前平駅より徒歩 10 分

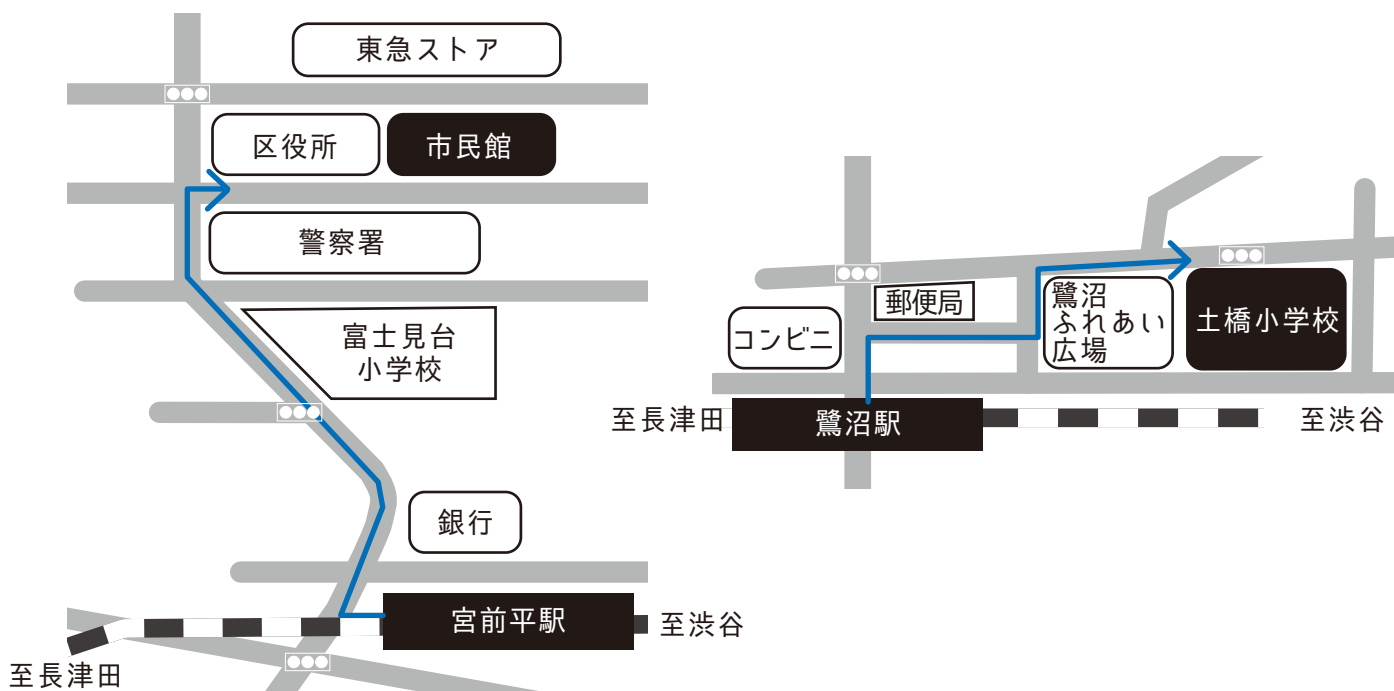
### 第2回

#### 土橋小学校 1階 特別活動室

〒216-0005

川崎市宮前区土橋 3-1-11

東急田園都市線 鷺沼駅より徒歩 10 分



## ワークショップの話し合いのお約束

- ① 全体の進行がスムーズにいくように協力しあいましょう。
- ② たくさんのことを言いたい時でも、なるべく多くの方が議論に参加できるように配慮しましょう。
- ③ 他の人の意見を否定したりせずに、色々な考えの人がいることを理解しましょう。

## 問い合わせ先

〒210-8577

川崎区宮本町 6 番地 明治安田生命川崎ビル 3 階

川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課 社会教育施設整備担当

TEL : 044-200-1981

FAX : 044-200-3950

\* 当日のお問い合わせ先 電話番号 : 044-888-3911 (川崎市宮前市民館)

